

特定非営利活動法人 枚方人権まちづくり協会

2022 年度事業概要

1. 枚方人権まちづくり協会運営

2. 協会自主事業

3. 男女共生フロア相談事業 (枚方市からの受託業務)

4. 地域就労支援事業 (枚方市からの受託業務)

5. 進路選択支援事業 (枚方市からの受託業務)

6. 人権ケースワーク（人権なんでも相談）事業 (枚方市からの受託業務)

7. 人権啓発事業 (枚方市からの受託業務)

8. 関連団体事業

1. 枚方人権まちづくり協会運営

(1) 会議

① 総会

6月21日(火)

3年ぶりに会場への参加により開催した。会員には、議案書を事前に送付し、委任状もしくは議決権行使書の提出での参加を依頼した。

(出席：39人 委任状：105人 議決権行使：60人 合計：204人 正会員数316人)

議案第1号 2021年度事業報告について

議案第2号 2021年度活動決算について
2021年度監査報告

議案第3号 理事及び監事の選任について

議案第4号 2022年度事業計画について

議案第5号 2022年度活動予算について

すべての議案について可決された。

② 理事会

6月21日(火) 役職者の互選にかかる理事会(出席：16人 委任状：3人 合計19人)

案件1 理事長、副理事長、常務理事の互選について

理事長に上野精順理事、副理事長に加藤美津代理事・林文子理事・中村隆久理事、常務理事に坂田幸子理事を選任。

案件1については可決された。

議案第1号 顧問の設置について

前原哲雄会員、野谷浄会員に委嘱。

議案第1号については可決された。

報告案件

1. 市民活動部会員の選任について

磯野雅治理事、加藤美津代副理事長、窪田哲也会員、熊倉望会員、鶴島緋沙子会員、中野惠永子会員、林文子副理事長、酒井晴美会員(新)、森裕治理事(新)

2. 調査研究部会員の選任について

木下誠理事、伏見俊昭理事、宮川和香子理事、山下勝弘会員

報告案件についてはすべて了承された。

10月24日(月)(出席：15人 欠席：4人 合計：19人)

報告案件1 2022年度上半期事業報告及び予算執行状況並びに下半期事業(予定)について

報告案件2 内部監査結果について

すべて了承された。

3月27日(月)(出席：16人 欠席：3人 合計：19人)

報告案件1 職員給与規則等の一部改正について

報告案件2 個人情報保護方針の策定について

議案第1号 2023年度総会に付議すべき事項の意思決定について

報告案件は了承され、議案は可決された。

③ 企画運営委員会

企画運営委員会を8回開催し、協会の運営や事業等について協議した。

(出席者：理事長、副理事長2人(うち1人は市民活動部会長兼務)、理事兼調査研究部会長、市人権政策室長(オブザーバー)、事務局長、事務局職員)

回数	1	2	3	4	5	6	7	8
開催日	4/25	5/23	7/25	9/20	10/17	11/21	1/23	3/13

④ 市民活動部会

市民活動部会の部会員を2人増員し、サポートスタッフを募集した。

市民活動部会を6回開催し、主に協会の自主事業及び市からの受託事業について協議した。

(出席者：部会長、副部会長、部会員7人、事務局長、事務局職員)

回数	1	2	3	4	5	6
開催日	5/10	7/12	9/13	11/8	1/17	2/21

⑤ 調査研究部会

開催していない。

(2) 協会の活動の周知と会員の加入促進 ・ 自主財源の確保

① 協会の活動の周知

- ・ 相談事業の周知のため、「広報ひらかた」掲載(4月・6月・12月)のほか、相談事業ごとに市公式LINE(ライン)・ツイッター・フェイスブックでも発信した。
- ・ 支援対象者を必要に応じて協会相談事業につないでいただくために、福祉関係等の支援者に相談案内と紹介依頼を配付した。配付先としては、民生委員・保護司・介護支援専門員・地域包括支援センター・保健師・保育士・生活保護ケースワーカー・母子父子自立支援員・若者相談員・ひらかた病院医療相談連携室・子ども食堂、大阪被害者支援アドボカシーセンター・しんぐるまざあずふおーらむ関西など(約1600枚)。
- ・ 相談事業のポスターについて、校区コミュニティ協議会へ掲示板掲示を依頼し(1960枚)、サンプラザ1号館エレベーターホール等に掲示した。
- ・ 相談案内チラシについては公共施設等に配架するとともに、人権啓発事業イベントなどで参加者に配付し、PRに努めた。

② ロゴマークの活用

協会の活動趣旨の理解を深め、啓発効果をより一層高めるため、2016年度に作成した本協会のロゴマークを、啓発事業のチラシやポスターのほか、パンフレット、職員の名刺など、さまざまな機会や場面で活用し、協会がより親しまれるものとなるよう努めた。

③ 協会ホームページの活用

人権啓発事業の開催案内、就労支援講座の募集案内及び総会の開催報告等を掲載するとともに、貸借対照表の公告を行った。

また、協会の新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた対応についてお知らせした。

啓発事業への申込方法として、これまでは電話申込を中心にしてきたが、協会ホームページに申込専用のフォームを作成し、時間を問わず気軽に申込みをしていただけるようにした。

さらに、幅広く人権に関する情報を提供できるよう、大阪府人権協会のメールマガジンなどとリンクさせた。

④ 会員の加入促進

会費収入増による自主財源の確保を図るため、人権啓発事業の際に、会場での入会案内コーナーの設置や、リーフレットへの入会案内の挟み込み、役員等による知人の勧誘などにより、積極的に加入の呼びかけを行った。

<会員数の推移>

年 度	2018 年度末	2019 年度末	2020 年度末	2021 年度末	2022 年度末
個人会員	304	326	310	293	283
団体会員	33	33	33	33	32

⑤ 人権啓発事業等における寄付金のお願い

自主事業を継続的かつ発展的に取り組むための財源確保を目的に、2019年度から人権啓発事業の会場でワンコインの寄付を募っている。2022年度は、23,902円の寄付があった。

⑥ 人権研修への講師派遣

人権尊重のまちづくりに寄与することを目的に、人権意識の普及・高揚を図るための啓発事業、人材育成事業として、事業所等への人権研修に係る講師派遣を行っている。

2022年度は人権研修講師派遣の依頼が2件あり、講師として4月に当協会の磯野雅治理事、2月に当協会人権相談員の松宮相談員を派遣した。

(3) 新型コロナウイルス感染防止対策について

新型コロナウイルス感染防止対策として、相談室でのアクリル板の設置、消毒用アルコールの設置、部屋の換気などを行った。また、イベント開催の際には、大阪府のイベント開催等における感染防止策に基づき、「感染防止策チェックリスト」を作成し、協会HPに公表するとともにイベント実施会場に掲出し、マスク着用・手指の消毒・検温・換気等を行った。

(4) 協会の相談事業の充実に向けて

- ・2021年度末でCSW（コミュニティソーシャルワーカー）配置事業は委託終了となり、CSWの配置はなくなったが、引き続き協会職員が生活困窮者自立支援制度支援会議や協会事務所近くの第8圏域（枚方・枚二・山之上小学校区域）連携会議に参加し、関係機関との必要な情報共有や連携を図った。
- ・人権なんでも相談員・就労支援相談員による会議を2か月に1回開催し、相談対応の共有化や相談事例の検討などを行った。人権なんでも相談において職場での人権侵害相談があった場合は就労支援相談員と連携して対応した。

2. 協会自主事業

(1) 事業内容

本協会の自主事業として、協会内に市民活動部会を設置し、会員自らの企画・運営により、市民への人権啓発を目的としたさまざまな事業を実施している。

(2) 実施状況

① 会員向けの研修会

例年実施している会員向けの研修会については、総会後の研修において、DVD上映「人権感覚のアンテナって」、「マララー教育を求めて闘う少女」を行った。

現地研修会は、2022年が水平社創立100年の年で、2022年3月にリニューアルオープンした「水平社博物館」（奈良県御所市）を10月7日（金）に見学した。参加者は40人であった。

② 夏休み人権映画会

協会の自主事業として、講演会や映画会など市民向けの人権啓発事業を実施している。

映画会では、大阪府のイベント開催等における感染防止対策に基づき、「感染防止策チェックリスト」を作成し、協会HPに公表するとともにイベント実施会場に掲出し、マスク着用・手指の消毒・検温・換気等を行い開催した。

アニメ「すみっこぐらし とびだす絵本とひみつのコ」は、「日本キャラクター大賞2019」グランプリ受賞。アンケートに回答された123人のうち116人（94.3%）がとても良かった・良かったとされ、「感動した」、「癒された」、「子どもと楽しい時間を過ごせてうれしかった」、「夏休みのいい思い出になった」、「コロナでイベントが減る中開催していただきありがたい」などの感想が寄せられた。市民活動部会員とサポートスタッフ等11人が従事した。

開催日	事業内容	会場	参加者数
8月12日 (水)	夏休み人権映画会 「すみっこぐらし とびだす 絵本とひみつのコ」	総合文化芸術センター関西医大 小ホール	254人

③ 映画「かば」上映会と監督トーク

1985年、大阪市西成区で過酷な環境の中でもよりよい明日を夢見て、悩み、苦しみ、自分たちの生き方を模索する子どもたちと向き合った実在の教師の姿を描いた映画。2万人以上が完成を待ち望んだ。上映後に川本貴弘監督のトークあり。市民活動部会員とサポートスタッフ等10人が従事した。

「人権を考える機会となった」、「先生たちが子どもたちに正面から向かう姿勢が素晴らしかった」、「人間くささがにじみ出た良い映画だった」、「映画＋トークショウがめずらしく良かった」などの感想が寄せられた。監督への質問も活発に行われ、最後まで会場は熱気に包まれていた。

開催日	事業内容	会場	参加者数
2月2日 (木)	映画「かば」上映会と川本貴弘 監督トーク	総合文化芸術センター関西医大 小ホール	241人

④ 協会ニュース「人権まちづくり新聞」の発刊

協会の諸活動を広く周知するとともに、人権啓発の一助になることを目的に、市民活動部会の編集委員による原稿作成・紙面編集で、年3回、各回3,000部を発刊している。

協会会員及び生涯学習市民センターや図書館等の公共施設及び公立小・中学校に配布している。

第24号（8月10日）	「2022年度総会の開催報告」、「2022年度の主な事業予定」、「枚方市が人権尊重のまちづくり基本計画を策定」、「街角シリーズ 聴覚障がい者に配慮した店舗」など
第25号（12月20日）	「水平社博物館で現地研修」、「人権週間事業講演会サヘル・ローズさん」、「人権文化セミナー講演会今井紀明さん」、「街角シリーズ 視覚障がい者に配慮したレストラン」など
第26号（3月31日）	「自主事業 映画『かび』上映会と監督トーク」、映画「破戒」の感想、「街角シリーズ 聴覚障がい者に配慮した指差し絵」、「2022年度の事業報告」など

(1) 事業内容

「男女共生フロア・ウィル」(ひらかたサンプラザ3号館4階)に、専門の相談員を配置し、家族や仕事、自身の健康や生き方など、様々な悩みをもつ女性のための、「面接相談」、「電話相談」及び「法律相談」、また「男性のための電話相談」を行っている。

なお、各相談では、DV(ドメスティック・バイオレンス)に関する相談も行っている。

<内 容>

【女性のための相談】

■面接相談(来所相談 要予約)

相 談 員：相談日に1人配置(相談員3人)

相談日時：水曜日 13時～16時10分(3枠)

木曜日 15時～19時40分(4枠)

金曜日 10時～15時(4枠)

相談内容：女性の様々な悩みを女性カウンセラーがサポート。1回50分。

■電話相談

相 談 員：相談日に1人配置(相談員3人)

相談日時：火曜日 15時～20時

水曜日 13時～17時

木曜日 10時～15時

相談内容：相談に行きにくい人のための電話相談。女性相談のみで、予約は不要。

■法律相談(来所相談 要予約)

相 談 員：相談日に1人配置(相談員4人)

相談日時：第1土曜日・第4火曜日 10時20分～12時50分(各4枠)

第2金曜日 13時20分～15時50分(4枠)

第3木曜日 17時20分～19時50分(4枠)

相談内容：法律上の問題に女性弁護士が相談に応じる。女性相談のみで、1回30分。

1年度に1回限り。

【男性のための電話相談】

相 談 員：相談日に1人配置(相談員1人)

相談日時：第1土曜日 14時～17時

第4木曜日 18時～20時

相談内容：様々な悩みを抱える男性のための電話相談。男性の相談員が対応。予約は不要。

(2) 相談件数

【女性のための相談】

() は 2021 年度の件数

種別	実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
面接 相談	相談件数	25	22	30	25	26	31	19	23	29	24	22	37	313 (425)
	相談日数	12	10	14	12	12	13	12	11	12	11	11	15	145 (146)
	新規・継続	新規 33 件、継続 280 件												
	相談内容	離婚・夫婦 63 件、家族 52 件、労働・職業 26 件、性・性的被害 5 件、からだ・こころ 30 件、生き方 95 件、生活 (近隣) 10 件、DV29 件、DV以外の暴力 3 件												

種別	実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
電話 相談	相談件数	43	41	41	45	50	52	51	47	47	42	34	38	531 (519)
	相談日数	13	10	14	12	13	13	12	12	12	12	11	13	147 (147)
	新規・継続	新規 85 件、継続 446 件												
	相談内容	離婚・夫婦 29 件、家族 147 件、労働・職業 24 件、性・性的被害 1 件、からだ・こころ 79 件、生き方 41 件、生活 (近隣) 186 件、DV4 件、DV以外の暴力 1 件、その他 19 件												

種別	実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
法律 相談	相談件数	12	9	14	9	7	14	6	8	9	8	12	14	122 (97)
	相談日数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48(45)
	新規・継続	新規 122 件												
	相談内容	離婚・夫婦 54 件、家族 22 件、労働・職業 4 件、性・性的被害 2 件、からだ・こころ 1 件、生き方 1 件、生活 (近隣) 6 件、DV7 件、DV以外の暴力 1 件、その他 24 件												

【男性のための電話相談】

種別	実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
電話 相談	相談件数	7	7	9	3	6	3	2	3	1	4	2	1	48(42)
	相談日数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	2	23(21)
	新規・継続	新規 18 件、継続 30 件												
	相談内容	夫婦関係(離婚、婚外関係等)7 件、人間関係 (職場、学校、近隣等) 17 件、こころ (不安、病気等) 12 件、労働 1 件、生き方 3 件、親子関係 3 件、からだ 1 件、人権侵害 (DV・セクハラ等) 1 件、法律 1 件、その他 2 件												

- 「女性のための面接相談」の相談件数は延べ313件で、昨年度より112件減っている。内新規相談は33件で、継続相談は280件で全件数の89.5%を占めている。相談内容では、「生き方」「離婚・夫婦」「家族」が多い。また、大阪府新型コロナ警戒信号が赤信号（非常事態）の期間中は、相談者が希望すれば相談員から電話をし、電話による相談とした。
- 「女性のための電話相談」の相談件数は延べ531件で、昨年度より12件増えている。全件数の84.0%が継続的な相談となっている。相談内容では、「生活（近隣）」「家族」「からだ・こころ」の順で多く、身近に相談相手がいない人からはほぼ毎回、日常生活に関する相談が続いている。
- 「女性のための法律相談」の相談件数は122件で、昨年度より25件増えている。例年、「離婚・夫婦」の相談件数が最も多く、今年度も44.3%を占めている。
- 「男性のための電話相談」の相談件数は延べ48件で、昨年度より6件増えている。相談内容では「人間関係」「こころ」に関する相談が多い。
- 男女共生フロア・ウィルの相談員と市職員による合同会議を2か月に1回開催して、情報交換とともに、相談対応の共有化や相談事例の検討などを行った。今年度は毎回、関係部署・機関職員や外部講師に来ていただき、利用者に関係部署・機関に関する適切な情報提供ができるよう研修に取り組んだ。

4. 地域就労支援事業

(枚方市からの受託業務)

(1) 事業内容

地域就労支援センターを設置し、地域就労支援コーディネーターが、障害者・ひとり親家庭の親・若年者・中高年齢者等で、働く意欲があるものの様々な阻害要因により就労が困難な者の就労支援を行っている。支援に当たっては、様々な雇用・就労支援施策などを活用するとともに、地域の関連機関（ハローワーク、若者サポートステーション、市子どもの育ち見守り室等）と連携している。

<内 容>

相談員：相談日に地域就労支援コーディネーターを1人配置。(相談員2人)

相談日時：月～水曜日・金曜日 9時～17時30分 (要予約)

業務内容：地域就労コーディネーター活動事業（相談者の就労支援）、地域就労活性化事業（就職のためのスキルアップ講習等の実施）等

(2) 相談件数

実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談件数	20	43	18	22	17	46	38	26	20	56	40	49	395(190)
内新規相談件数	4	27	5	4	7	26	17	0	3	19	4	4	120(102)
相談日数	16	16	17	16	19	15	16	17	16	15	16	17	196(192)
相談者内訳	若年者 60 人、中高年齢者 150 人、高年齢者 65 人、障害者 119 人、その他 1 人、就職氷河期世代 97 人（重複カウント）												
就職件数	6	1	0	1	4	1	2	2	0	0	0	19	36 (28)

() は 2021 年度の件数

「就職件数」は、当協会の就労支援により就職につながった方のうち、当該月に確認ができた件数。就職者の内訳は、2021 年度パソコン講習会 1 人、2021 年度フォークリフト運転技能講座 6 人、2021 年度調剤薬局事務講座 6 人、2022 年度パソコン講習会 5 人、2022 年度フォークリフト運転技能講座 4 人、2022 年度介護職員初任者研修 5 人、C-STEP 7 人、2022 年度相談のみで 2 人。

- 就労相談では、地域に根差した就労支援として、応募書類の書き方や面接の受け方だけでなく、求人情報の探し方など、相談者の状況に合わせて支援した。
- 相談件数は延べ 395 件、昨年度に比べて 205 件増え、約 2 倍になった。
- 相談者の内訳は、新規相談では「中高年齢者」が多く、45.8%を占め、再相談では「障害者」が 40.4%、「中高年齢者」が 34.5%を占めている。
- 面接や電話による相談がしにくい若年者が少しでも相談しやすいように、1月～3月に初めてオンライン相談を試行する（実施件数 4 件）とともに、来年度の本格実施に向けて課題を検討した。
- 北河内地域若者サポートステーションとの連携が密になって、同機関からの紹介者が増え、C-STEP の人材スキルアップ定期コースへの参加者が増えた。その内訳は 7 月の「座学と企業見学会」に 4 人、10 月の「座学と職場実習」に 5 人、合計 9 人（前年度年間実績 3 人）。当該コースに参加するまでには、協会が個別相談を重ね、関係機関とのケース検討会議を経て推薦する必要があり、就職につながる丁寧な伴走支援のひとつとなっている。
- ※ C-STEP：一般社団法人おおさか人材雇用開発人権センター。大阪府や市町村、約 850 社の会員企業・団体と連携して、就職困難者等の人材養成やマッチング事業等を実施している。
- 利用者の状況に応じて関係機関との連携を図り、今年度から必要に応じて生活困窮者自立支援制度

に係る支援会議や重層的支援体制整備事業に係る重層的支援会議、本協会事務所近くの第8圏域（枚方・枚二・山之上小学校区域）連携会議にも参加し、関係機関との必要な情報共有や連携を図った。

（3）講座等の開催

就労する意欲があっても、様々な理由で就職することが困難な人を対象に、資格取得のための就労支援講座（保育付き）を開催するとともに、再就職へのスキルアップのため、地域就労支援コーディネーターによる「就職活動の事前準備・基礎知識」についての講習会等を開催している。

講座名	講座内容	実施日	参加者数
就労支援講座 パソコン講習会 (全13日)	就労支援事前セミナー	6月13日	24人(18人)
	日商PC検定基礎ワード対策講座	6月14日～6月21日	24人(16人)
	日商PC検定基礎エクセル対策講座	6月22日～6月29日	26人(18人)
就労支援講座 介護職員初任者研修 (全16日)	就労支援事前セミナー	10月11日	20人(12人)
	介護職の技術の習得と資格取得（旧ホームヘルパー2級）講座	10月11日～11月11日	20人(12人)
就労支援講座 玉掛け技能講座 (全3日)	玉掛け技能の習得と資格取得講座	11月8日～11月10日	7人(10人)
就労支援講座 フォークリフト運転技能講座(全4日)	フォークリフトの運転技能の習得と資格取得講座	11月11日～11月15日	11人(10人)
就労支援講座 調剤薬局事務講座 (全6日)	就労支援事前セミナー	2月15日	16人(23人)
	「調剤事務認定実務者」資格取得対策講座	2月15日～2月24日	16人(23人)

（ ）は2021年度の人数

- パソコン講習会及び介護職員初任者研修は、ほぼ募集定員の参加となった。
- 昨年度から実施しているフォークリフト運転技能・玉掛け技能講座は、昨年度と同じく市外（四條畷市下田原、大阪特殊自動車学校）での実施だったが、受講者は全員、資格を取得した。
- 調剤薬局事務講座は30人定員で募集したが、16人の参加に留まった。

5. 進路選択支援事業

(枚方市からの受託業務)

(1) 事業内容

この事業は、進学意欲を有しながら、経済的な理由により高校・大学等への進学が困難で、支援が必要な生徒に対して、家庭の状況に見合った適切な相談や個々の課題等に対応したサポートを行い、生徒が積極的に自己の進路を考え、将来に展望が持てるよう支援を行っている。

相談員が、支援の必要な生徒や保護者に対し、奨学金や進路等に関する相談業務を行い、情報を提供するとともに、必要に応じて学校や関係機関と連携し、進路選択の支援を行っている。

<内 容>

相談員：1人

相談日時：火曜日 13時～17時及び18時～20時（要予約）

業務内容：奨学金・進路等の相談、情報提供、学校訪問、関係機関へのコーディネートなどの相談者に対する支援

(2) 相談件数

実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談件数	2	3	3	4	1	4	1	3	2	3	3	3	32 (31)
相談日数	4	4	4	4	5	4	4	5	4	4	4	3	49 (50)

() は2021年度の件数

相談形式	面接30件、電話2件 保護者29人、本人4人、その他2人
新規・継続	新規30件、継続2件
対象生徒	中学3年生19人、高校3年生5人、その他11人

- 相談内容は、新制度についての問い合わせ、進学に要する資金、奨学金の受給に関するものがほとんどである。奨学金に関する情報提供や資金貸付制度について、資料を手渡して説明を行った。また、進路選択における保護者の姿勢や進学後の心構えなどについても助言した。
- 3年ぶりに開催された保護者向けの奨学金制度説明会（教育委員会主催）において、相談員が講師となり、進路選択支援相談のPRも行った。また、進路選択支援事業の独自チラシを作成して、ひとり親家庭相談支援センターへの配架や生活保護ケースワーカー等への配付も行ったが、相談件数は延べ32件（内、夜18時～20時の利用実績は7件）と昨年度件数とほぼ同じである。

（1）事業内容

人権相談員を配置し、市民が人権侵害を受け、又はその恐れがある場合において、相談事案に応じた助言及び情報提供を行うとともに、どこに相談すればいいのかわからないという声にも寄り添いながら、市民が自ら問題解決できるよう支援を行っている。また、人権侵害等の実態把握や相談を通じた行政ニーズの把握も行っている。

<内 容>

相 談 員：相談日に1人配置（相談員3人）

相談日時：月・水～金曜日 9時～17時30分

（ただし、第1水曜日・第4木曜日は12時45分～17時30分）

火曜日 12時45分～20時、第3土曜日 9時～12時

業務内容：人権に関するなんでも相談（インターネット上の人権侵害を含む）

（2）相談件数

実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談件数	30	21	37	9	32	15	38	27	32	24	24	44	333(142)
相談日数	21	20	23	21	23	21	21	21	21	20	20	23	255(243)

（ ）は2021年度の件数

<内 訳>

相談形式	面接50件、電話283件
新規・継続	新規99件、再開13件、継続221件
相談内容	女性9件、障害者14件、高齢者16件、子ども3件、同和問題2件、外国人1件、新型コロナウイルス3件、性的マイノリティ1件、職業・雇用19件、刑期後出所1件、ネット上侵害3件、近隣20件、家族間18件、その他223件

- 相談件数は延べ333件で、昨年度に比べ2.3倍に増えたが、平均すると1日1.3件に留まった。継続相談が多く、総実件数は112件であった。今年度から、市役所開庁時間ではない、毎週火曜日の夜及び毎月第3土曜日の午前も相談を行ったが、相談実績は火曜日の夜11件、第3土曜日の午前は1件に留まった。
- 相談内容としては、「その他」の項目となる「生活」に関する相談（暮らしの中での困りごと、生きづらさなど）が67.0%を占め、福祉制度利用等にはつながりにくい困りごとを受け止める受け皿となっている。
- 今年度から、人権侵害等の実態把握の一環として、人権なんでも相談員によるインターネット上の人権侵害モニタリング（週1回1時間程度）に取り組み、人権侵害事案等を把握した場合は随時、市に報告した。市への報告件数は延べ42件で、市は報告を受けて削除要請等について法務局等と調整を行っている。
- 一般財団法人大阪府人権協会の専門相談員による研修や同協会の「インターネット上の人権侵害の相談に対する各相談窓口の対応を考える」研修に参加し、相談員のスキルアップを図った。
- 生活困窮者自立支援制度支援会議や本協会事務所近くの第8圏域（枚方・枚二・山之上小学校区域）連携会議、相談窓口・多職種連携会議に参加し、関係機関との必要な情報共有や連携を図った。

(1) 事業内容

人権啓発事業として、今年度は、連続講座「生きること」及び「生きること」冊子発行事業、人権文化セミナー、人権週間事業、北朝鮮人権侵害問題啓発週間事業を実施した。

(2) 実施状況

① 連続講座「生きること」

(会場：ラポールひらかた 大研修室)

開催日 担 当	テーマ	講 師	参加者数
10月11日(火) 教育政策課	記憶を失うとどうなるのか？ ～交通事故にあい脳の中まで出血する～	ゆうすけ工房 草木染作家 坪倉優介さん	73人
10月18日(火) 人権政策室	新型コロナウイルス禍の中で 「生きること」を考える	市立ひらかた病院副院長兼看護 局長兼医療相談・連携顧問 白石由美さん	144人
10月26日(水) 文化生涯学習課	重い病気のある「きょうだい」が いるということ ～自身の体験と、きょうだい支 援の活動から～	NPO法人しぶたね 理事長 清田悠代さん	58人
10月29日(土) 枚方人権 まちづくり協会	生えてこなかった足 ～空襲体験記とその後のこと～	大阪空襲訴訟を伝える会 安野輝子さん	44人

計 319 人 (2021 年度 199 人)

② 人権文化セミナー

人権文化セミナーは、あらゆる人権問題について学び、市民自らの人権意識を高めることを目的に、高齢者、女性、若者、子ども、障害者、在日外国人など、さまざまな人権問題をテーマとした講演会の開催等の事業を実施している。

今年度は講演会で、講師はNPO法人D×P（デーピー）の理事長である今井紀明さん。2004年イラクで子どもたちの支援活動中に武装勢力に人質として拘束され、日本に帰国後大きなバッシングで対人恐怖症になるも復帰し、若者を支援するNPO法人を立ち上げた。

参加者からは、「若者の厳しい現状が知れた」、「若者支援のNPO法人があることを知れた」、「講師の努力に感心した」などの感想が寄せられた。市民活動部会員5人が従事した。

開催日	事業内容	会場	参加者数
11月24日(木)	人権文化セミナー講演会 講師：今井紀明さん 「孤立からつながりへ」	ラポールひらかた大研修室	76人

③ 人権週間事業

人権週間事業は、1948年12月10日に、国連が「世界人権宣言」を採択したことを機に、12月10

日を「人権デー」と定め、我が国においても、12月4日から10日の1週間を「人権週間」と定めて、その期間中に様々な啓発の取り組みが行われている。

枚方人権まちづくり協会では、市民に対して人権意識の普及と高揚を図り、人権尊重のまちづくりの一助とするため、毎年、枚方市との共催で街頭啓発や講演会等を実施している。

今年度は講演会で、講師は俳優のサヘル・ローズさん。イラン出身。8歳で養母フローラ・ジャスマンさんとともに来日、高校生から芸能活動を始めた。舞台『恭しき娼婦』では主演を務め、主演映画『冷たい床』では、ミラノ国際映画祭で最優秀主演女優賞を受賞するなど、映画や舞台、俳優としても活動の幅を広げている。また、第9回若者力大賞を受賞。国際人権団体NGOの「すべての子どもに家庭を」の活動では、親善大使を務めた。個人的にも支援活動を続け、公私にわたる福祉活動が評価され、2020年にはアメリカで人権活動家賞を受賞。

参加者からは、「説得力があった」、「生き立ちのお話に心打たれた」、「人権や平和の勉強になった」、「自分の人権を大切にすることが人の人権を守れる」、「今日を気付きのスタートラインにしたい」などの感想が寄せられた。市民活動部会員とサポートスタッフ等9人が従事した。

開催日	事業内容	会場	参加者数
12月2日(金)	人権週間の街頭啓発	枚方市駅、樟葉駅、長尾駅	43人

開催日	事業内容	会場	参加者数
12月8日(木)	人権週間事業講演会 講師：サヘル・ローズさん 「世界で今何が起きているのか」	総合文化芸術センター 関西医大 小ホール	152人

④ 北朝鮮人権侵害問題啓発週間事業

北朝鮮人権侵害問題啓発週間事業は、2006年に「拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害問題への対処に関する法律」が施行され、12月10日から16日の1週間を「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」と位置づけられていることから、拉致問題をはじめとする北朝鮮による人権侵害問題について、市民の関心と認識を深めるために「拉致問題を考えるパネル展・DVD『めぐみ』上映」を実施した。市民活動部会員とサポートスタッフ等9人が従事した。

開催日	事業内容	会場
12月8日(木)	北朝鮮人権侵害問題啓発事業 拉致問題を考えるパネル展・DVD「めぐみ」上映 (大阪府人権企画課所有パネルを借用)	総合文化芸術センター マルチスペース1

8. 関連団体事業

人権が尊重される社会を目指して、人権啓発事業などに取り組んでいる下記各団体の事業等について、積極的に連携・協力している。

① 北河内人権啓発推進協議会

同会は、同和問題をはじめとする人権問題の啓発に関する事業等を積極的に推進し、北河内7市市民の人権意識の高揚を図るとともに差別のない明るいまちづくりに寄与することを目的とする。2021年度～2022年度は、上野理事長が副会長、加藤美津代副理事長、熊倉望さん、鶴島緋沙子さんが幹事を務めている。

役員会 5月：書面表決、総会 7月：書面表決
11月 啓発冊子「インターネットと人権」発行
12月 映画「破戒」上映会開催

② 世界人権宣言寝屋川・枚方・交野連絡会

同会は、世界人権宣言の精神が実現されるための諸活動に取り組むことを目的とする。2022年度は、上野理事長が会長を務めている。

役員会・全体会 5月18日（水） 理事長 出席
会員研修 11月7日（月） 「ツラッティ千本」 理事長・林副理事長参加

③ 枚方事業所人権推進連絡会

同会は、同和問題をはじめとする人権の課題について、企業自らも社会的責任においてその解決を図るため、企業相互の協力体制を充実するとともに、関係行政機関と連携を図り推進していくことを目的とする。

就職差別撤廃月間街頭啓発活動 6月2日（木） 理事長、事務局長 参加

④ 枚方・交野地区社会を明るくする運動実施委員会

同会は、「社会を明るくする運動」を通じて、枚方・交野市民が犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい地域社会を築くことを目的とする。

式典・講演会 7月1日（金） 理事長 出席
街頭啓発 9月28日（水） 市内3駅にて 理事長 参加

⑤ おおさか人権協会連絡協議会

同会は、加盟組織が相互交流、協働することにより大阪府及び府内市町村・地域における人権尊重の取組みの推進に寄与することを目的とする。

第1回代表者会議 7月11日（月） 事務局長 出席
第12回総会 8月8日（月） 理事長、事務局長 出席

⑥ 人権啓発推進大阪協議会（愛ネット大阪）

同会は、憲法と国際人権規約に定められた基本的人権を擁護するため、大阪府民の人権意識の高揚を図ることを目的とする。

2022年度総会 9月8日（木） 理事長 出席